



情報開示(ディスクロージャー)

大和証券グループは、あらゆるステークホルダーに対して、財務的・社会的・環境的側面の情報の公正かつ適時適正な開示を行い、積極的なコミュニケーション活動を行なっています。

取組みの現状と目標

大和証券グループは、「ディスクロージャー・ポリシー」に則り、証券業に携わる企業として、ほかの上場企業の模範

となるような適時・適正な情報開示に取り組んでいます。また、株主・投資家を含むあらゆるステークホルダーに対して、財務情報のみならず、社会的・環境的側面の非財務情報を含めた幅広い情報提供を行い、コミュニケーションの拡充を図っています。

2007年度の課題・目標

- 非財務情報の開示強化
- 個人投資家向けIR活動のさらなる強化

2007年度の実績・進捗状況

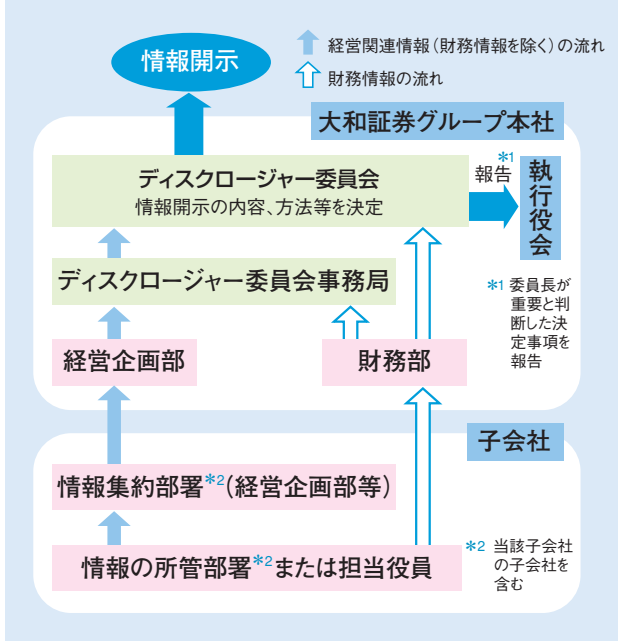
- 機関投資家・アナリスト向けテーマ別IRミーティングの開催
- 機関投資家・アナリスト向けCSRセミナーの開催
- 各種無形資産についての情報開示の充実
- 個人投資家向けIR説明会の増加、イベントへの参加
- 株主優待の拡充・内容充実
- わかりやすくグループ概要を示すファクトシートの作成

情報開示の体制

大和証券グループ本社では、情報開示に関する基本的な考え方である「ディスクロージャー・ポリシー」を実現するため、「ディスクロージャー規程」を制定しています。同規程により、情報開示に関する最終的な意思決定は、執行役会の分科会である「ディスクロージャー委員会」が担っています。

また、各グループ会社では、それぞれの「経営関連情報管理規程」を制定。社内ネットワーク上に経営関連情報連絡表を掲載するなど、グループ各社での情報収集と大和証券グループ本社への報告が確実に行われ、グループ全体としての統一した情報開示を実施するための体制を整えています。

大和証券グループ情報開示のフロー



ディスクロージャー・ポリシー

- 当社は、株主・投資家、地域社会を始めとするあらゆるステークホルダーの当社に対する理解を促進し、その適正な評価のために、当グループに関する重要な情報（財務的・社会的・環境的側面の情報を含む。）の公正かつ適時・適切な開示を行います。
- 当社は、金融商品取引法、その他の法令及び当社の有価証券を上場している金融商品取引所の規則を遵守します。
- 当社は、内容的にも時間的にも公平な開示に努めます。
- 当社は、説明会、電話会議、インターネット、各種印刷物を始めとするさまざまな情報伝達手段を活用し、より多くの投資家の皆様にわかりやすい開示を行うよう努めます。
- 当社は、情報開示にあたって、常に証券市場を担う立場にあることを意識し、他の株式上場企業の模範となるよう努めます。
- これらの精神を実現するために、当社はディスクロージャー規程を制定し、ディスクロージャー委員会の設置や当グループの情報開示の方法等を定めています。

株主、投資家とのコミュニケーション

■個人投資家への取り組み

より幅広い個人投資家の方々とのコミュニケーションを実現するため、2007年度は個人投資家向けIR説明会を、これまでの東京・大阪に加え、札幌・福岡でも開催しました。また、他社と合同の女性投資家向けIR説明会や大規模な個人投資家向けIRセミナーにも参加し、事業内容や戦略、非財務情報についての説明を行いました。

また、当グループの構造や事業内容、業績の概要などをより平易に理解できる冊子を目指して、「大和証券グループファクトシート」を作成しました。



個人投資家向けIRセミナーの様子



大和証券グループファクトシート

■機関投資家への取り組み

機関投資家へ向けは、年に2回の経営トップによるIR説明会に加え、個別のIR面談を実施しています。2007年度は、さらに情報開示を進めて大和証券グループへの関心・理解を深めていただく機会として、個別面談などのなかでご要望の多かったテーマを選び、大和証券グループの取り組みの現状や今後の戦略についての説明を行う「テーマ別IRミーティング」を実施しました。



春季IR説明会

■株主への取り組み

株主との直接のコミュニケーションの場である株主総会に、より多くの方に参加していただくため、2006年より土曜日の開催としています。第71回定時株主総会（2008年6月21日実施）の出席株主数は1,838名でした。株主総会後には、軽食をはさんで講演会を実施しました。また、総会の模様を同時衛星中継し、大阪および名古屋の会場にて合計999名の方にご覧いただきました。

また、株主の声を聞き、経営やIR活動の参考とするため、「株主アンケート」を継続的に実施しています。これらの結果を、今後の事業活動や株主優待制度の満足度向上などにつなげていきます。

WEB版 活動報告 ●株主アンケートの結果

2008年度の目標と主な行動計画

2007年度に引き続き、CSRをはじめとする非財務情報に関する情報開示に力を入れるとともに、アニュアルレポートなどの出版物やIRウェブサイトなどの各種ツールの内容充実により、さまざまなステークホルダーに対して積極的なコミュニケーションを図っていきます。また、株主優待制度を拡充して満足度の向上を目指すとともに、そのスムーズな運用のための事務体制の整備にも注力していきます。